【 介護実践基準 】

1 全ての介護実践における共通事項

- 1 1 利用者の尊厳を守る事ができる。
- 1 2 利用者のプライバシーを守る事ができる。
- 1 3 自立支援の考え方にに基づき介護の展開ができる。
- 1 4 適切な説明・理解を得て介助ができる。
- 1 5 PDCAサイクルを理解し、介護過程の展開ができる。
- 1 6 手洗いを丁寧にいき、清潔な手指で(基本的な清潔保持)介助できる。
- 1 7 感染症における標準予防策(スタンダード・プリコーション)ができる。

2 介護技術

2 1 食事介助

- 2 1 1 摂食(咀嚼・嚥下)について基本的な知識がある
- 2 1 2 正しい食事姿勢の把握・対応が行える
- 2 1 3 利用者にあつた適切な食事形態の判断が出来る
- 2 1 4 食事摂取に関して必要な自助具の検討 実施ができる
- 2 1 5 咀嚼困難・嚥下困難な利用者への食事介助ができる
- 2 1 6 食事に関する適切な環境設定及び、提案できる(テーブル配置・コミュニケーション 等)

2 2 調理

- 2 2 1 適切な食材が選べる
- 2 2 2 料理が出来る

2 3 口腔ケア

- 2 3 1 歯磨き介助ができる
- 2 3 2 義歯の取り扱いができる(掃除・取り外し)
- 2 3 3 舌苔の除去ができる
- 2 3 4 口腔ケアを行うにあつたての環境設定及び、提案ができる(姿勢 洗面所の高さ 物品の準備)

2 4 排泄

- 2 4 1 排尿・排便の基本的な知識がある
- 2 4 2 身体状況に合わせた排泄介助ができる
- 2 4 3 排泄に関する適切な環境設定及び、提案ができる(オムツ 等)

2 5 入浴

- 2 5 1 入浴する目的の理解ができる(清潔保持・リハビリ)
- 2 5 2 入浴の基本的な介助方法が理解できる(洗身・着脱等)
- 2 5 3 身体状況に合わせた入浴介助ができる(浴槽判断・介助方法)
- 2 5 4 入浴に関する適切な環境設定及び、提案ができる

2 6 起居動作・トランスファー・移動

- 2 6 1 起居動作・トランスファー・移動介助について基本的な知識がある
- 2 6 2 身体状況を把握した上で、残存機能を最大限に活かした介助ができる
- 2 6 3 起居動作・トランスファー・移動介助に関する適切な環境設定及び、提案ができる

2 7 介護記録・ケアプラン

- 2 7 1 介護記録・ケアプランを理解している
- 2 7 2 利用者の適切なアセスメントができ記録に残せる
- 2 7 3 利用者の状態や介護過程の実践が見える記録ができる(やったことの証明)

2 7 4 ケアプランに基づき介護記録ができる

2 8 認知症介護(中核症状の理解ができる)(BPSDの理解ができる)

- 2 8 1 即時記憶に対する対応ができる
- 2 8 2 近時記憶への対応ができる
- 2 8 3 過去の現在化に関する対応ができる
- 2 8 4 時間的失見当を理解し対応できる
- 2 8 5 場所的失見当を理解し対応できる
- 2 8 6 人物的失見当を理解し対応できる
- 2 8 7 判断力低下に伴う対応ができる
- 2 8 8 手続き記憶に基づく支援ができる
- 2 8 9 実行機能に応じた支援ができる
- 2 8 10 幻覚を理解し対応できる
- 2 8 11 妄想を理解し対応できる
- 2 8 12 徘徊を理解し対応できる
- 2 8 13 異食を理解し対応できる
- 2 8 14 攻撃的言動を理解し対応できる
- 2 8 15 危険行為を理解し対応できる
- 2 8 16 不潔行為を理解し対応できる
- 2 8 17 性的逸脱行為を理解し対応できる
- 2 8 18 夕方の不穏状態を理解し対応できる
- 2 8 19 ケアへの抵抗を理解し対応できる
- 2 8 20 認知症高齢者の5つの心理的ニーズを理解しケアに生かすことができる
- 2 8 21 躁鬱の理解ができる

2 9 アクティビティ(アクティビティを理解・実践する。「段取り・起案・準備・提供・ができる」)

- 2 9 1 作業に結びつけることができる
- 2 9 2 集団体操に結びつけることができる
- 2 9 3 レクリエーションに結びつけることができる
- 2 9 4 行事の提供に結びつけることができる
- 2 9 5 技法を理解している(リアリティーオリエンテーション・回想法 等)

2 10 急変対応

- 2 10 1 バイタルサインのチェックができる
- 2 10 2 裂傷に対する対応ができる
- 2 10 3 骨折時の対応ができる
- 2 10 4 誤嚥・誤飲時の対応ができる
- 2 10 5 AEDの対応ができる
- 2 10 6 医師・看護師との適切な協力ができる
- 2 10 7 関係機関と連携がとれる

3 介護保険及び諸制度に関して

3 1 介護保険に関して

- 3 1 1 事業所に関わる介護保険制度の理解ができる
- 3 1 2 配属された事業所の説明ができる
- 3 1 3 多職種協働・関連職種や関連機関と連携することができる

3 2 身体拘束及び高齢者虐待に関して

- 3 2 1 身体拘束に関して理解し、実践できる
- 3 2 2 高齢者虐待に関して理解し、実践できる
- 3 2 3 不適切なケアに関して自ら気付く、もしくは指摘を受け、改善することができる
- 3 2 4 法令遵守規定に基づき対応することができる